

芳名録の掲載について

※大正8年から昭和22年(芳名録第30巻)まで、本館創立以来約50年間分の記名者を記載する
 ※記帳事項は芳名録に記録されたもので、名刺や文章、絵、歌などの状況も記す
 ただし著作権に関わるような形態の絵や歌、住所が特定できる番地などは掲載しない
 ※備考は本館で調査した加筆事項で、図書や新聞、インターネットの情報による
 ※文字が不明な場合は＝で表記する

芳名録巻	来館日			氏名	記帳事項	備考 職名など本館調査によるもの
	年	月	日			
S16	1941	11	28	秋月 清秀		
S16	1941	11	28	井上 活次		
S17	1942	3	4	谷本 馬太郎	海軍中将	海南警備府司令長官 佐世保鎮守府司令長官
S17	1942	3	4	松浦 永次郎	海軍中将	艦政本部第6部長 佐世保工場長兼川棚工廠長
S17	1942	3	10	慶松 一郎		厚生省衛生局薬務課技師 厚生省初代薬務局長
S17	1942	3	10	長沢 佳熊	熊本薬専	同行 熊本薬学専門学校教授 厚生省国立衛生試験所特殊薬品部長 ホルモン薬品学
S17	1942	3	10	久保 清喬		同行
S17	1942	3	10	太田 千鶴夫	看護学	同行 本名:肥後栄吉 小説家 警察医
S17	1942	3	18	平山 洋三郎	農林書記官	農林省農政局農業保険課長 農林省大臣官房統計書記官 帝国女子専門学校長 日赤社長平山成信の3男
S17	1942	3	18	田村 友義	帝国農会	同行
S17	1942	3	18	鈴木 雄輔	日本銀行福岡支店長	初代支店長
S17	1942	3	20	松本 重彦	京城帝国大学教授	法文学部教授 国史学 アラビア語学 元大阪外国語学校教授
S17	1942	3	20	末松 保和	同	同行 法文学部教授 朝鮮史 学習院教授 学習院大学図書館長
S17	1942	3	23	藤 = =也		
S17	1942	3	24	霜山 精一	東京控訴院長	大審院長 貴族院議員 最高裁判所判事
S17	1942	3	24	大塚 今比古	同控訴院部長	同行 大審院判事 最高裁判所判事
S17	1942	3	24	奥野 建一	同	同行 大審院判事 参議院法制局長 最高裁判所判事
S17	1942	3	26	斎藤 栄一	大坂毎日新聞社	編集局長 中部本社代表 専務編集主幹 「春はセンバツから」というコピーを作る
S17	1942	3	26	田保橋 潔	京城帝国大学教授	法文学部 国史学 近代日本外交史 朝鮮史編修会囑託
S17	1942	3	26	加藤 = =		同行
S17	1942	3	26	蘆太 = =		同行
S17	1942	3	26	井上 司朗	情報局情報官	内閣情報局第4部文芸課長 大蔵省監督官 後楽園スタジアム取締役 ニッポン放送総務局長 歌人 号:逗子八郎
S17	1942	3	31	大森 洪太	司法次官	大審院部長 日本大学初代校歌作詞
S17	1942	4	1	平井 好一	日東航業汽船株式会社	専務 大阪商船株式会社遠洋課長 日本船主責任相互保険組合専務理事
S17	1942	4	1	佐原 理市		同行
S17	1942	4	1	宇川 久之		同行
S17	1942	4	10	小林 千秋	内務書記官	内務省地方局財政課長 大臣官房会計課長 和歌山県知事 元三重県知事
S17	1942	4	13	笹原 忠六		
S17	1942	4	23	吉野 信次		勅撰貴族院議員 翼賛政治会常任総務 愛知県知事 参議院議員 運輸大臣 武蔵大学学長 吉野作造の弟
S17	1942	4	23	奥野 栄	大阪毎日新聞社	
S17	1942	5	26	金原 金二		丸善取締役、のち丸善出版社長、丸善常務取締役 日本書籍出版協会相談役 日本出版クラブ副会長
S17	1942	4	26	小山 善次		東京帝国大学第3内科 国立東京第一病院内科医長 初の人間ドック 国立病院医療セン

S17	1942	4	28	小山 晋之		ター院長
S17	1942	4	28	Rodrigo al= =to	サンチアゴ チリ	
S17	1942	6	6	高島 彌三		
S17	1942	6	15	石田 益美		
S17	1942	6	17	谷口 守一		
S17	1942	6	29	宮本 守雄		大阪東電社代表取締役 ボーイスカウト連盟副総コミッショナー
S17	1942	7	5	小山 栄三		厚生省人口問題研究所研究官 立教大学講師のち教授 新聞学・広報学 国立世論調査研究所所長
S17	1942	7	5	岡崎 文規		同行 厚生省研究所人口民族部長兼内閣統計局統計官 人口問題研究所所長
S17	1942	7	5	館 稔		同行 厚生省研究所人口民族部人口政策研究部長 人口問題研究所所長
S17	1942	7	14	歌野 吉甫		県立対馬中学校教諭 は虫類研究 宗家文書所蔵
S17	1942	7	14	上原 専禄		東京商科大学教授 歴史学 中世ヨーロッパ史 東京産業大学学長 国民教育研究所初代所長 国民文化会議議長
S17	1942	7	18	高橋 渡	弁護士	前衛写真家
S17	1942	7	19	松本 学	貴族院調査団	貴族院勅選議員 中央警察学校長 世界貿易センター会長 日本自転車振興会初代会長 元静岡県、福岡県知事
S17	1942	7	19	村瀬 直養	随行	同行 貴族院勅選議員 法制局長官 商工組合中央金庫理事長 元特許局長官
S17	1942	7	19	内海 =寿	外三名	同行
S17	1942	8	17	馬屋原 勝己	= =中国大学	
S17	1942	8	20	高原 美忠		八坂神社宮司 神社本庁理事 皇學館大学学長
S17	1942	8	28	三枝 博音	日本科学古典全書編纂	哲学者 無神論運動 鎌倉大学校校長 日本科学史学会会長 横浜市立大学学長
S17	1942	9	12	及川 古志郎	海軍大将	軍事参議官 海軍大学校校長 初代海上護衛司令長官 軍令部総長 元海軍大臣
S17	1942	9	12	高木 平次	海軍大佐	同行 巡洋艦艦長
S17	1942	9	12	川田 錦一郎	国鉄資材部長	鉄道省門司鉄道局鉄道官
S17	1942	9	14	岡 千里	長崎公所長	
S17	1942	9	18	清水 留三郎	衆議院議員	群馬1区 改進黨
S17	1942	9	18	小笠原 八十美	"	同行 青森1区 のち自由党 厚生政務次官 日本家畜商協会会長 十和田湖観光に尽力
S17	1942	9	18	長井 源	"	同行 三重2区 民政党的ち改進黨、日本民主党、自民党
S17	1942	9	18	小坂 武雄	"	同行 長野1区 進歩党 信濃毎日新聞社社長 長野商工会議所会頭 電源開発総裁小坂順造の実弟
S17	1942	9	18	鈴木 質	守衛副長	同行
S17	1942	9	19	Hi = k = Aougushi	ハンブルグ	
S17	1942	9	22	中堂 観恵	海軍大佐	のち海軍少将 南方軍参謀副長 タイ國駐在武官
S17	1942	9	30	平野 利	大審院検事	ゾルゲ事件で尾崎秀実を担当 弁護士
S17	1942	10	14	菱山 照暢	成田山別院 = =	名古屋別院主監 犬山ロータリークラブ会長
S17	1942	10	14	美奈川 武保	在長崎海軍監督長	海軍機関大佐のち海軍少将 軍需省鉄鋼局長
S17	1942	10	17	坂口 康蔵	東京帝大教授	医学部内科 糖尿病の研究 貴族院議員 国立東京第一病院長 人間ドックの発案
S17	1942	10	17	影浦 尚視	長崎医大教授	同行 内科 糖尿病研究 長崎医科大学学長 長崎大学学長
S17	1942	10	19	上野 益三	京都帝大助教授	理学部附属大津臨湖実験所長 昆虫学 水生昆虫の生態研究 甲南女子大学教授
S17	1942	10	27	清原 貞雄	広島文理科大学教授	教務課長 歴史学 神道史 国体論史の研究 大分県史料刊行会監修
S17	1942	10	28	武藤 具三	長崎日報社長	元読売新聞工務局長 元長崎日日新聞社長
S17	1942	10	28	三浦 薫雄	読売新聞東亜部長	同行
S17	1942	10	29	長広 敏雄	東方文化研究所	美術史学 京都大学、橘女子大学教授
S17	1942	11	4	山本 秀夫	東亜研究所	研究員 農業総合研究所員
S17	1942	11	4	河合 哲雄		同行 東亜研究所員 翻訳
S17	1942	11	4	平山 廬江		都新聞、読売新聞記者 作家 長崎の酒屋に養子 本名:平山壮太郎

S17	1942	11	9	森田 達雄	福岡県山門郡柳河国民学校	
S17	1942	11	9	山口 豊	〃	同行
S17	1942	11	9	田中 コズエ	〃	同行
S17	1942	11	9	阿久根 ハツエ	〃	同行
S17	1942	11	9	岸川 政一	筑後柳河＝助役	同行
S17	1942	11	14	清水 澄	枢密顧問官	枢密院議長 憲法学者 大日本帝国憲法に殉じて自殺 元学習院、慶應義塾大学教授
S17	1942	11	17	石崎 由三郎		
S17	1942	11	17	雑賀 進		同行 鉄道・酒評論家 鉄道日本社創設
S17	1942	11	17	戸塚 文子		同行 随筆家 JTB社員「旅」編集長
S17	1942	11	20	大口 喜六		衆議院議員 愛知6区 国民更生金庫理事長 元初代豊橋市長
S17	1942	11	20	馬場 誠		長崎高等商業学校教授
S17	1942	11	20	眞子 敬之助	外三十名	同行
S17	1942	11	24	西山 政猪		元文部相専門学務局長、宗教局長 満州国体育協会副会長
S17	1942	11	24	金廣 純一		同行
S17	1942	11	26	＝＝ 善一		
S17	1942	11	27	中島 弘道		大審院判事
S17	1942	11	27	小堀 保		同行 大審院判事
S17	1942	12	1	尾佐竹 猛	東京帝国大学講師 明治大学文科部長	大審院判事 明治文化研究 法制史研究 明治大学法学部教授 憲政史研究
S17	1942	12	2	谷川 徹三		哲学者 法政大学教授のち学長 婦人公論主幹 帝室博物館次長 宮沢賢治研究 詩人 谷川俊太郎の父
S17	1942	12	2	浅原 六朗		同行 小説家 新興芸術派倶楽部結成 日本大学芸術学部教授 てるてる坊主の作詞
S17	1942	12	2	岡田 三郎		同行 小説家 日本キネマ設立
S17	1942	12	2	横光 利一		同行 小説家 俳人 新感覚派
S17	1942	12	3	堀江 貞喜		
S17	1942	12	3	丹羽口 哲＝		同行
S17	1942	12	4	熊谷 浩		
S17	1942	12	19	巖崎 他人		外務省チエンマイ領事館領事官補 チリ大使
S17	1942	12	19	巖崎 茂治		同行
S18	1943	1	31	四条 隆徳	侯爵	貴族院議員 大日本皇道立教会第3代会頭 獣医学研究
S18	1943	1	31	河野 ＝＝		同行
S18	1943	2	1	大谷 光暢	伯爵	浄土宗大谷派管長 東本願寺第24代法主のち門首 昭和天皇の義弟
S18	1943	2	23	丹羽 文雄		海軍報道班員 小説家 日本文芸家協会会長 戦場躍進運動の記事収集のため来崎
S18	1943	2	23	田中 豊蔵		同行 美術史家 東洋美術史 文部省美術研究所長 東京美術館長 元京城帝国大学教授
S18	1943	2	26	芥川 信		司法省行刑局第4課長 司法省最初の衛生官 社会衛生学、行刑衛生学 医師
S18	1943	3	5	秋山 要		司法省東京控訴院検事局検事長 司法省刑事局長
S18	1943	3	8	阿部 知二		陸軍報道班員 小説家 英文学者 明治大学教授 翻訳家 4日佐世保で講演
S18	1943	3	8	豊田 三郎		同行 小説家 陸軍大本営報道班員 日本文芸家協会書記局長 本姓:森村 4日佐世保で講演
S18	1943	3	10	日色 謹爾		
S18	1943	4	12	加藤 正男		画家 挿絵画家「月の沙漠」作詞 号:まさを
S18	1943	4	20	矢島 祐利		京城帝国大学理工学部教授 電磁気学史 物理科学史 東京理科大学教授
S18	1943	4	28	久保 哲		
S18	1943	5	4	佐藤 一郎		東宝映画社員 映画プロデューサー 日本映画製作者協会理事長
S18	1943	6	1	中村 一良		文部相図書局第1編集課 東京女子高等師範学校教授 日本史 お茶の水女子大学教育学部教授
S18	1943	6	1	末＝ 敏夫		

S18	1943	6	1	M Cyelly ==		同行
S18	1943	6	7	竹内 武一郎		
S18	1943	6	11	藤井 作造		
S18	1943	6	11	小野 智史		同行
S18	1943	6	17	岡野 文之助		東京市政調査会研究員
S18	1943	7	9	== ==		
S18	1943	7	9	田中 実一		同行 洋画家 光風会評議員
S18	1943	7	26	小野 忠重		版画家 浮世絵研究 新版画集団結成
S18	1943	7	31	今宮 千勝		茨城県内政部地方視学官 土浦中学校長 県立土浦第一高等学校長
S18	1943	8	2	Gustavo Laharca Carat		
S18	1943	8	3	早坂 久		
S18	1943	8	6	宮崎 貞雄	インドネシア協会	
S18	1943	8	16	島田 武	慶應義塾	
S18	1943	8	16	島田 昭		同行
S18	1943	8	16	佐々木 信雄		同行 明治製菓副社長
S18	1943	8	17	松田 晴一	慶応義塾	学生 長崎自動車会長 ハウステンボス会長 長崎国際テレビ会長 長崎商工会議所会頭 長崎市出身
S18	1943	8	17	福田 勝		同行
S18	1943	8	23	山本 信哉	文学博士	歴史学者 神道学者 元東京帝国大学史料編纂所史料編纂官 國學院大学教授
S18	1943	8	24	北原 篁子		北原白秋の長女 ドイツ語学者岩崎英二郎夫人
S18	1943	8	25	奥寺 和歌子		
S18	1943	8	25	秋永 芳郎		歴史ノンフィクション作家 昭和前期の陸軍史・大陸浪人史
S18	1943	9	2	遠藤 常壽	大審院検事	検事局検事 大阪控訴院検事長
S18	1943	9	2	勝田 成治	司法事務官	司法省刑事局思想課事務官 札幌高等裁判所検事長
S18	1943	9	5	石橋 一路		
S18	1943	9	5	中村 学文		同行
S18	1943	9	5	竹田 国弼		同行
S18	1943	9	29	長岡 壽吉		陸軍少将 東京師管区兵務部長
S18	1943	9	30	秋根 兵次郎		西部合同瓦斯株式会社技師
S18	1943	9	30	日下 博		
S18	1943	9	30	黒宮 英男		同行
S18	1943	10	4	大谷 瑩潤		真宗大谷派連枝、同派宗務総長 衆議院議員 参議院議員 中国人俘虜殉難者慰霊実行委員会会長
S18	1943	10	6	矢部 真己		
S18	1943	10	10	嶺瀧 千安 =		
S18	1943	10	19	加納 久朗	正金銀行取締役、子爵	横浜正金銀行取締役 日本住宅公団初代総裁 千葉県知事
S18	1943	11	13	藤野 靖	文部省教学官	教学局教学官室
S18	1943	11	13	有川 龍吉	西部瓦斯会社取締役	同行
S18	1943	11	19	山崎 涼市		
S18	1943	11	27	立花 鑑徳	伯爵	柳川藩第15代当主 柑橘類の品種改良
S18	1943	11	27	田北 不礎人	福岡県会議員	同行
S18	1943	11	27	井上 伊太蔵	福岡県山門地方事務所長	同行
S18	1943	11	27	瀬川 次郎	大日本言論報国会	元同志社大学経済学部教授
S18	1943	11	27	井澤 弘		同行 大日本言論報告会常務理事
S18	1943	12	6	江口 重国	佐賀高等学校長	法学 元東京帝国大学書記官 福島高等商業学校長
S18	1943	12	6	小田 龍太	佐賀高等学校教授	同行

S18	1943	12	11	藤 利夫		
S18	1943	12	13	田中 道甫		
S19	1944	1	6	大幸 喜三郎	小倉陸軍造兵廠	陸軍少将 小倉陸軍造兵廠長 のち陸軍中将
S19	1944	1	7	松本 芳夫	慶應義塾大学	文学部教授 日本古代史 神代史研究 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫長
S19	1944	1	10	岩上 夫美雄		大日本産業報国会常務理事 東邦電化取締役 日本協立地所常任監査役 元秋田県知事
S19	1944	1	13	藤原 銀次郎		行政監察官 軍需大臣 戦争受刑者世話会理事長 藤原科学財団設立 元王子製紙社長 貴族院勅選議員 川南・三菱の査察
S19	1944	1	23	菊池 信雄	西部軍軍医部長	のち陸軍軍医中将兼北支那方面軍軍医部長
S19	1944	2	26	石黒 忠篤		貴族院勅選議員 農業報国連盟理事長 農商大臣 参議院議員 全国農民連合会会長 全国農業協同組合中央会理事 元農林大臣 農政の神様
S19	1944	2	26	三樹 樹三		元島根県知事 のち日本商工会議所専務理事
S19	1944	2	27	山木 宏	旧一九四五口部隊	
S19	1944	3	2	益田 道信		玄洋中学校長 当仁中学校長
S19	1944	3	4	板垣 昂		海軍大佐 佐世保警備隊参謀 佐世保海兵団副長 のち海軍少将
S19	1944	3	5	中島 茂	宮崎高等農林学校	宮崎県幸島のサル調査 天然記念物指定に貢献
S19	1944	3	10	倉橋 == 郎		文部省
S19	1944	3	10	田路 十二一		同行 文部省
S19	1944	3	10	宮坂 義雄		同行 文部省学務局 産業教育の推進
S19	1944	3	12	上中 秀雄	食糧管理局理事官	農林省
S19	1944	3	12	青柳 確郎	企画課長	同行 農林省
S19	1944	3	22	久重 一郎	佐世保海軍人事部長 海軍少将	佐世保鎮守府人事長
S19	1944	3	22	岡野 芳夫	長崎海軍監督長 海軍少将	同行
S19	1944	3	24	高本 仁平	横浜正金銀行長崎支店副支配人	
S19	1944	3	24	佐々木 誠治	同行書記	同行
S19	1944	4	3	伊能 芳雄	厚生省労務官	名古屋労務官事務所長労働監督官 青森県内政部長 長野県、群馬県知事 参議院議員
S19	1944	4	3	海野 十三	海軍報道班員	小説家 SF作家 推理作家 本名:佐野昌一
S19	1944	4	3	松山 英 ==		同行
S19	1944	5	2	柴田 之成	在マニラ	
S19	1944	5	6	西岡 太郎	熊本県経済部長	元山梨県経済部長
S19	1944	5	8	伊藤 奎三		
S19	1944	5	24	馬場 義統	検事	東京控訴院検事局 大審院検事 東京地検検事正 法務事務次官 検事総長 経済検事として政界汚職事件に関与
S19	1944	5	24	開 之		司法省民事局経済課
S19	1944	6	12	熊谷 辰治郎	大日本青少年団実践局長	陸前高田市に博物館建設を提唱。
S19	1944	6	12	黒田 =		
S19	1944	6	23	利倉 幸一		演劇評論家 「演劇界」出版 武者小路実篤に師事
S19	1944	7	16	古賀 彦次郎		佐賀県北山村議会議員 「北山公論」の発行
S19	1944	7	16	廣石 捷一		
S19	1944	7	17	堀内 茂礼	海軍中将	軍需省福岡軍需管理部長
S19	1944	7	18	富安 道義		沖縄風景絵はがきの作者 元柳川郵便局長
S19	1944	8	10	西田 太一郎	第三高等学校教授	中国哲学 中国社会思想史 京都大学、京都外国語大学教授
S19	1944	8	11	中里 義美	神日本学長	神霊研究家 神代文化研究家
S19	1944	8	22	松本 義一	大分経済専門学校教授	大分大学教授 附属図書館長 国文学
S19	1944	9	16	小林 宗之助	海軍中将	軍令部出仕 元舞鶴鎮守府司令長官
S19	1944	9	16	山本 昌造		同行
S19	1944	9	16	山口 秀亮		同行
S19	1944	10	3	大槻 正一	広島高等師範学校教授	哲学 教育学

S19	1944	10	11	三宅川 賢二	農商省水産課長	元農林省大臣官房文書課事務官
S19	1944	10	15	入江 俊郎	法制局参事官	法制局長官 貴族院議員 衆議院法制局長 最年少最高裁判事 最高裁判事在任期間最長 駒澤大学教授
S19	1944	11	25	野津 清治	県立佐賀図書館長	
S19	1944	11	25	奥村 雅二郎	江北綿花組合総務課長	
S19	1944	12	2	松本 標	長崎連隊区司令官 陸軍少将	
S19	1944	12	4	小林 正一郎		
S19	1944	12	9		佐賀高等学校文科二年	
S19	1944	12	24	銅直 勇	熊本師範学校長	横浜国立大学、日本大学、明星大学教授 社会学
S19	1944	12	24	古林 光雄	熊本師範学校教授	同行 教育学
S20	1945	1	7	川上 敬逸	関西大学教授	国際法学
S20	1945	1	10	中瀬 拙夫		日本糖業連合会常務理事 元台湾総督府殖産局長・専売局長 台北州知事 衆議院議員 長崎1区
S20	1945	2	18	大塚 貞治	海軍大佐	
S20	1945	2	18	石川 浩	同	同行 大日本学徒海洋教練振興会舞鶴地方支部長
S20	1945	2	18	本多 政徳	海軍技術大佐	同行
S20	1945	2	18	魚住 順治	海軍中佐	同行 海上自衛隊海将補 日本鋼管顧問
S20	1945	2	23	小佐々 俊雄	川南造船専門校配属 陸軍中尉 外学生六拾名	
S20	1945	10	8	Berb M Dobbs son		伍長
S20	1945	10	8	Robert L Cox		同行 伍長
S20	1945	10	22	Patrick Tholan		上等兵
S20	1945	10	23	Reed J Groine		米海兵隊尉官
S20	1945			W = = = Seely		同行 米海兵隊1等兵
S20	1945			Thomas L Lame		同行 米海兵隊1等兵
S20	1945			Alvin N Laspy		同行 米海兵隊1等兵
S20	1945			J F McGinty		同行 米海兵隊1等兵
S20	1945			= = = = = = =		同行 米海兵隊尉官
S20	1945			Donald R Maxtin		同行 米海兵隊尉官
S20	1945			Cloudy M Sittton		同行 米海兵隊伍長
S20	1945			Hermar Taruowen Major		同行 米海兵隊
S20	1945			= = = =		同行
S21	1946	1	26	井上 忠雄		
S21	1946	2	19	森 達雄		元長崎大学教育学部長
S21	1946	5	8	池田 正友	外務省調査局委員会	
S21	1946	6	3	林 銑吉		郷土史家 島原半島史の研究
S21	1946	6	4	川村 博太郎		国税庁、大蔵省官僚
S21	1946	12	13	Austin Brues		米人 シカゴ大学医学部教授 放射線生物学 マンハッタン計画に従事 原子力障害調査委員会の調査で来日
S21	1946	12	13	Paul S Henshaw		同行 米人 オークリッジ国立研究所所員 生物物理学 遺伝学 マンハッタン計画主席生物学研究員 原子力障害調査委員会の調査で来日
S21	1946	12	13	Melvin A Bluem		同行 米人 陸軍医科学団大尉 原子力障害調査委員会の調査で来日
S22	1947	3	28	鈴木 武男	長崎県内務部長	
S22	1947	3	28	Philip O Keeney	I hope this library grows much taster than the acorn,but grows as sturdily.	同行 GHQ民間情報教育局図書館担当官として来日 図書館改革を目指す夫婦で共産主義スバイ活動をしていたとして解雇
S22	1947	3	28	松岡 安立	長崎軍政府教育課	同行

S22	1947	3	28	藤本 藤治郎	長崎県教学課長	同行 内政部 大村高校校長
S22	1947	3	28	上田 徳蔵	地方事務官	同行 第4代佐世保第二中学校長
S22	1947	3	28	近藤 保	長崎県立佐世保第二中学校長	同行 第3代 元学務課総務課長
S22	1947	3	28	山口 勝	長崎商工会議所常務理事	同行
S22	1947	3	28	猪股 登	長崎県社会教育協会主事	同行
S22	1947	5	2	= 憲之	東洋大学教授	
S22	1947	5	21	= .R.Coughlin		
S22	1947	5	21	Seiichi Ishikawa		同行
S22	1947	5	22	速水 家彦	長崎師範	民俗学 台湾民族研究
S22	1947	6	1	土井 忠生	広島文理科大学	国語学 広島大学、広島女子大学教授 広島女子大学学長 キリシタン文献の国語学研究
S22	1947	6	1	中川 徳之助		同行 国文学 中世日本文学 広島大学教授
S22	1947	6	1	田井 庄之助		同行 近世日本文学 国語教育 広島大学教授
S22	1947	6	1	濱崎 賢太郎		同行 日本文学